

グリーン四国

四国森林管理局

高知市丸ノ内 1 丁目 3-30
TEL 088-821-2000
FAX 088-821-4834

ホームページアドレス <http://www.rinya.maff.go.jp/shikoku/>
電子メール shikoku_soumu@rinya.maff.go.jp



四国山の日

No.1085 2010 年 8 月号

高校生を対象にした 森林環境教育の実施

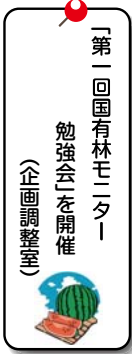
高校生への森林環境教育として、平成19年度から高知県立高知農業高等学校森林総合科の生徒を対象に取り組んでおり、本年度、3年生は「木材の流通」及び「林道事業」、2年生は、「治山事業」を学びました。 【詳細は2頁に掲載】



木材市場で、木材の利点、欠点等の学習の様子



治山工事（溪間工）現場での様子



平成二二年七月二七日、高知県の町（石鎚山系の国有林）において、第一回国有林モニター勉強会を開催しました。当日は、石鎚山系では珍しい好天に恵まれ、四国四県から国有林モニターの方一二名が参加されました。

当日は、道の駅木の香に集合し、日程説明後、バスで瓶ヶ森（標高一、八九六）登山口の駐車場へ到着しました。車内では、嶺北森林管理署管内の国有林について概要説明し、また、吉野川の源流を目の前に、吉野川の流域や水利用について話し合い、生活に欠かせない水と森林の関わりについて、考えていただきました。

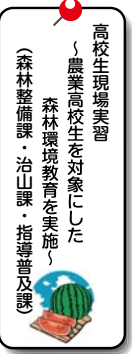
その後、森林整備の現場

を見学するため、隣接する民有林と国有林との共同作業団地において、計画的な作業道の開設・利用等の効果的な森林整備を推進するために、会社有林と国有林連携による森林整備の計画について説明をしました。

今回の勉強会に参加したモニターの方々は、国有林の現場を視察して、森林の働きや国有林の業務内容についての説明を、大変熱心に聞き入っておられました。また、活発に質問や意見を述べられていました。



会社有林と国有林における共同作業団地の説明



四国森林管理局では、年間百回余り森林環境教育に取り組んでいます。高校生への取組が少ないことから、平成一九年度から、高知県立高知農業高等学校森林総合科の全学年を対象にした森林環境教育に取り組んでいます。

この森林環境教育は、森林総合科のカリキュラムとして実施しており、今年度は、六月一日に二年生を対象とした授業に引き続き、六月二日、二四日、二五日の三日間に二年生、二三名と三年生、一五名を対象に現場実習を実施しました。三年生の実施箇所は、木材流通が嶺北森林管理署管内の高知県土佐町、本山町、林道工事が安芸森林管理署管内の高知県馬路村です。木材の流通では、嶺北地

域の林業の取り組みとして、講師の嶺北木材協同組合理事長から、間伐された森林、木材市場、木材加工施設、れいほくスケルトンモデルハウスを案内して貰い、森林整備と木材利用の重要性、木材の利点・欠点を十分理解し利用することが重要であることなどについて説明を受けました。また、林道

工事では、林道新設工事の測量から施工までの流れと、災害復旧工事について学習しました。二年生の実習箇所は、高知県の町の民有林内で森林管理局等が実施している治山事業の溪間工と地すべり防止工の施工箇所において学習しました。

今回の学習の中で、生徒達は、れいほくスケルトンモデルハウスの見学で「木造建築の良さ」が印象深かったようで、治山工事及び林道工事では、授業で、

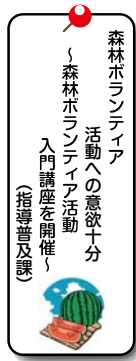
面や写真だけではしか習っていなかったが、現場を見学して、現場の大変さを痛感したようでした。今後、一年生については、秋に高知県馬路村の千本山保護林の見学を予定しています。



モデルハウス見学



林道現場で



四国森林管理局では、森林ボランティア活動を志す方を対象に、「森林ボランティア活動入門講座」(延べ三日間)を開催しており、二年度については、七月一日に、第一回目を開催しました。

当日は、高知県内から女性一名を含む七名が受講しました。午前中に、森林管理局職員から、森林・林業分野の基礎知識を含めた「森林ボランティア活動のすすめ」と、「安全対策について」の講義を行いました。受講者は、熱心にメモをとり、また、「実際に森林ボランティアに参加するにはどうしたらよいか。」といった質問が出され、森林ボランティア活動への関心の高さが伺えました。

午後からは、実際に木に

ふれて親しんでいただくため、「木工クラフトづくり」の実習を行いました。

木工クラフトは、「フクロウ付き鉛筆立て」を製作しました。

受講者は、日頃使うことのない鋸やナイフに戸惑いながらも、精神を集中して作り、完成後は一喜一憂していました。

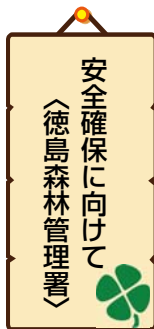
この講座は、九月に林業機械の取扱いと間伐作業についての実習を行い、最終回の十一月には、木材利用について学ぶ予定です。



作品が完成しました

平成二二年度 国有林野事業安全週間 及び準備期間での取組

四国森林管理局では、平成二二年度国有林野事業安全週間及び準備期間において、各署等が安全大会、緊急訓練など様々な安全活動を実施しています。各署等の主な取組を紹介いたします。



本年度の安全大会を七月六日に開催しました。

大会当日は、署別安全指導責任者の局治山課長から、挨拶と局長メッセージを代読していただきました。また、長年の労働安全への取組が実を結び、海部・池田・落合の各森林事務所が労働安全表彰を受賞しました。これに引き続き、安全標語表彰や産業医の宮本先生に

よる安全講話、安全宣言を行い、安全週間を契機にそれぞれの立場、持ち場で意識を新たにすることを誓い安全大会を終了しました。

また、翌日は車両点検を行う場合のポイント等について、JAF徳島支部の方に講師をお願いし、車両点検、タイヤパンクの際の交換での注意点、バッテリーがあがった場合の応急措置等の実技講習を受け、日頃の点検整備を適切に行うことにより、①事故防止につながる②車両の長持ちにつながる③燃費が良くなること等の効果があることを再認識したところで

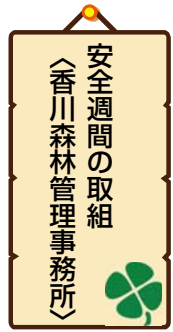
す。その後、署内の若年職員を対象に、徳島森林事務所谷脇さんが講師になり、鉋の研ぎ方や使用に当たって注意する点などについて実技指導を行いました。この安全大会や各講習を終え、

これらの成果を今後の業務に活かして、作業の安全確保や運転時等の交通安全の確保に努めていくことを心を新たに誓ったところ



鉋の研ぎ方





当所では、七月二日に安全大会を行いました。
 まず、建設業労働災害防止協会の方を講師として「建設業における労働災害の防止」をテーマに、民間企業でのダム等の建設や安全管理実務者としての経験を交えながら、①企業の災害防止責任と義務、②災害防止のために、③リスクアセスメント、④発注者の責務等について講話いただくとともに、平成二十一年六月から施行されている労働安全衛生規則（足場等）の改正の内容について説明いただきました。

次に、高松南警察署方を講師に「交通安全講話」を実施し、交通事故の発生状況について講話いただくこと

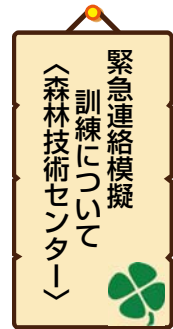


高松南警察署の皆さんからの自転車の実技指導

もに、平成二十一年九月から施行されている自転車における傘差し運転等の規制強化に関して、その危険性について実技を交えながら指導していただきました。

いずれも大変有意義な内容であり、今後における労働災害の防止及び交通安全への取組の決意を新たにいたしました。

また、準備期間中に安全標語の募集を行い、応募があった二四作品の中から、最優秀賞一点、優秀賞二点を安全大会において表彰しました。



安全週間の準備期間にあわせて職員の安全意識の高揚を図るとともに、森林技術センターと嶺北森林管理署が連携した緊急連絡体制を確立することを目的として、六月一七日に、合同で緊急連絡模擬訓練を行いました。

森林官が車で移動中に蜂に刺され中程度以上のショック症状が現れたとの想定のもと、森林技術センター、嶺北署等と連携しつつ、被災地から長沢診療所まで移送する訓練を実施しました。

その後、反省会を開き、①衛生電話（イリジウム）の特性を理解したうえ使用する。②事務所職員も参加した訓練が必要であるなど反省点が出され、あらためて訓練の大切さを確認しました。

◇◇安全週間等に各署等で行われた主な行事等◇◇

管理署等	安全大会実施日	交通安全講話	作業前点検等	救急法講習	安全・衛生講話	安全標語発表及び表彰	優良事業場表彰	その他	協力団体等 (講師依頼)
四国森林管理局	7月1日	○	○						高知警察署
森林技術センター	7月1日	○	○					嶺北署との合同で、緊急連絡模擬訓練(6月17日)	高知警察署
徳島森林管理署	7月6日	○	○		○	○	○	鉋の研ぎ方、使い方	産業医、JAF徳島支部
香川森林管理事務所	7月2日	○	○		○	○			高松南警察署、建設業労働災害防止協会
愛媛森林管理署	7月6日	○	○		○	○			産業医、松山東警察署
四万十森林管理署	7月6日	○	○	○		○	○		中村警察署、四万十消防署 窪川警察署、四万十清流消防署
嶺北森林管理署	7月6日	○	○		○	○	○	森林技術センターとの合同で、緊急連絡模擬訓練(6月17日)	本山警察署、高知地方気象台
高知中部森林管理署	7月1日		○	○	○	○		救急法(AEDの使用法)	香美市消防香北分署
安芸森林管理署	7月1日	○	○		○	○	○	山岳等における事故・急病に対する連絡・事故例等	安芸警察署、安芸消防本部



安全大会 (安芸署)



救急法講座の様子 (四万十署)



安全宣言 (愛媛署)



愛媛森林管理署

西条森林事務所

首席森林官 鋸本 久義

西条森林事務所は、愛媛県東予地方に位置する地下水の自噴泉である「うちぬき」で有名な西条市にあり、石鎚森林事務所との合同事務所です。当森林事務所は私と三年目になる若い係員の二名ですが、石鎚森林事務所森林官、基幹作業職員(一名)と互いに協力しながら事業を運営しています。また、五年程前から森林保護員二名を臨時雇用し、春から秋にかけて石鎚山・瓶ヶ森を主体に、森林の保全・清掃等を目的とした森林パトロールを行っています。

管内の国有林面積は約四、八〇〇haで、西日本最高峰の石鎚山(一、九八二m)を中心とする瓶ヶ森・寒風山・笹ヶ峰等の石鎚山系を管理しています。

霊峰石鎚山は、毎年七月一日からの一〇日間、お山開大祭として多くの参拝者・登山者で賑わい、この間は愛媛森林管理署の職員も加わって、参拝者・登山者の安全確保、森林保全等を目的にパトロールを実施しています。

また、石鎚山系は「石鎚山系森林生態系保護地域」、「四国山地緑の回廊(石鎚山地区)」、「自然休養生林(面河・四国カルスト・瓶ヶ森)」、「風景林(石鎚・笹ヶ峰・寒風山)」等に指定さ

れ、標高差や地理的条件により多種、多彩な動植物が見られる重要な地域であり、四季を通し人々を惹きつけています。ぜひ、一度は石鎚山系に足を運ばれるようお勧めします。

当森林事務所の主な事業は、造林請負事業(除伐Ⅱ類等)、立木販売(分収育林)、境界巡検、林野巡視、林道の維持管理等があります。

また、石鎚森林事務所管内の請負生産事業の監督員、土居森林事務所への応援などもありますが、応援をいただくこともあり、西条地区(石鎚・土居・西条)で協力し合いながら事業を進めることが大切と考えています。

当森林事務所に着任して四ヶ月余りで、管内を把握するにはまだ時間が必要ですが、首席森林官としての役割を果たせるよう頑張りたいと考えています。



「石鎚山」



「筆者は右側」

第二〇回
「氷室まつり」開催
〈森林技術センター〉

いの町本川地域で「第二〇回氷室まつり」が七月八日、同町越裏門の吉野川河川敷で行われました。

当日は、地元いの町長の外、高知県知事をはじめ、多くの方々が参加する中で、手箱山（一、八〇六）国有林内の氷室に天然氷を取りに行く登山隊は、当日の天候不順にもかかわらず多くの参加者を得て氷が取り出され、まつりの参加者にふるまわれました。まつりでは、二〇回開催を記念しての餅撒き、地元の太鼓グループ一番風による演奏や、本川神楽、プロ歌手による歌謡ショー等が華を添え、終日賑わっていました。



氷室まつりの様子

新任紹介

四国森林管理局長

宮原 章人

- 昭和五六年四月 農林水産省入省（構造改善局総務課）
- 平成元年八月 高知営林局宿毛営林署長
- 平成二二年七月 大臣官房審議官（国際部担当）
- 平成二二年七月 現職

校庭のモミの木の炭素現存量にビックリ！
〈ふれあいセンター〉

七月五日、四万十市立後川中学校において、一年生

三名と、隣接している利岡小学校六年生一名を対象に森林教室を行いました。

まず最初に、「森・川・海のつながり」について、森で作られた栄養分が川から海へ流れ、プランクトンや昆布や魚の栄養となっていて、森が豊かになれば、川も海も豊かになることを説明しました。

次に、炭素現存量の話に移り、樹木が二酸化炭素を吸収し水と光エネルギーを使って成長するとともに、炭素を固定していることを説明し、その固定炭素量を測るためには樹木の体積を求めなければならぬことと、測定のための道具として、輪尺・直径巻尺・測竿・デジタル測高計が必要であることを説明しました。その後、校庭に移動し、アカマツとモミの胸高直径と樹高を測定しました。アカマツの樹高は一〇以上の測竿と

同じ位でしたが、モミの木は測竿では測りきれず、目で予想した後、デジタル測高計で測定しました。生徒の中にはピタリ当てる子もいて「やったー」と歓声をあげていました。

再び、教室へ戻り、炭素現存量の計算に移りました。算出するために、枝や根っこを含めた樹木全体の体積を求めた後、乾燥時の重さ、その中の炭素の含有量、最後に樹木が吸い込んだ二酸化炭素の重さを求めました。生徒達は、係数が連続する計算に手まどいながらも、モミの木（胸高直径七〇センチ、樹高二一）が六・二二トンの二酸化炭素を固定していることを導き出しておどろいていました。

この学習によって子供達は、モミの木一本でも大量の二酸化炭素を固定し、地球温暖化防止に役立っていることを、数字の上でも理解することができたと思っ

ています。



モミの木の高さは？

森林環境教育の推進
〈高知中部森林管理署〉

当署では、県立香北青少年の家に宿泊訓練等に訪れる小学生を対象とする森林教室に随時講師を派遣しています。最近の三ヶ月でも次の七校に向けて講師をつとめてきました。

〔五月五日 野市小学校 四〜六年生 二四名〕

〔五月二二日 香南市立香我美小学校五年生 四名〕

〔五月二五日 いの町立

下八川小学校三～五年生
九名

〔五月二六日 香美市立
香長小学校五年生 一六
名〕

〔六月一日 高知市立江
ノ口小学校五年生 四一
名〕

〔六月一三日 いの町立
川内小学校五年生 一六
名〕

〔六月二二日 高知市立
一宮小学校五年生 八九
名〕

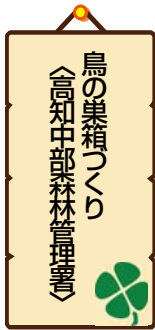
この森林教室では、絵や
写真を交えながら日本の森
林の概要や森林の持つ公益
的機能等についてわかりや
すく説明しました。また、
当署管内で撮影した動物の
写真や動画を見てもらい息
抜きをした後、サクラやミ
ズメなどの枝を使っていろ
いろな動物の置物を作成し
ました。

終了後のアンケートでは
担任の先生から「日本の国

土の三分の二、高知県全体
の八四％を占める森林をう
まく活かしながら環境教育
への取組ができればいいな
と思います。いかにして森
林を整備し保存・活用して
いくかを子どもたちと一緒
に考えていきたいです。」と
の意見があり、今後さらに
森林環境教育を推進してい
ただく契機になったと実感
しています。



力を合わせて、うまく切れるかな



当署は香美市立大柘小学
校とヒカリ石国有林におい

て「遊々の森」協定を結ん
でおり、毎年五年生を対象
に森林環境教育を行って
います。今年度第一回目の取
組として七月二日に鳥の巣
箱づくりを行いました。

まず、地域の国有林や当
署の仕事の内容について知
ってもらおうと、写真を見
てもらいながら分かりやす
く説明し、その後、鳥の巣
箱づくりに取りかかりまし
た。

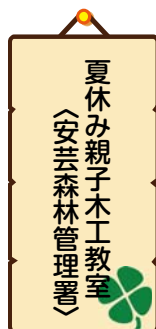
最初は慣れない手つきで
かなづちを使い斜めに通っ
てしまった釘を抜き、また
打ち直し…。と失敗を繰り返
しながらも各々、自分で
巣箱を完成させました。

最後に「今日は巣箱の作
り方を教えていただきあり
がとうございました。秋に
みんなで巣箱を掛けに行く
のを楽しみにしています。」
とのお礼を言葉をいただき、
写真撮影をして教室を終え

ました。



巣箱できたよ



七月二五日、高知県安芸
郡芸西村の村保健センタ
ーで、「夏休み親子木工教室」
を実施しました。

この教室は、毎年夏休
み期間中に村教育委員会から
の要請で実施しています。

当日は、木工教室を通し
て親子で身近な環境に関
心・興味を持つことを目的
に、夏休み最初の日曜日に
幼稚園児、小学生児童の親
子合わせて四〇名参加があ
りました。

木工教室を始める前に森
林ふれあい担当より、刃物
でケガをしないための注意
について説明をしたあと木
の小枝を使ったカブト虫、
クワガタ、また今年は貝殻
などの材料も準備し、いろ
いろな作品作りに取り組み
ました。

幼稚園、小学校低学年の
児童は木を切るノコギリは
お母さん等に手伝ってもら
い、出来上がった昆虫を板
に張り付け色を塗り、工夫
を凝らした作品が次々に完
成すると、夏休みの宿題完
了と親子でニッコリ、ケガ
もなく親子木工教室が終了
しました。



親子木工教室の様子